

平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	日雇労働者等技能講習事業			担当部局庁	職業安定局雇用開発部			作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	雇用開発企画課就労支援室			就労支援室長 下角 圭司	
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定								
根拠法令(具体的な条項も記載)	雇用保険法第63条第1項第8号			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日雇労働者、ホームレス及びホームレスとなることを余儀なくされるおそれのある者(住居喪失不安定就労者)に対して、技能労働者として必要な知識・技能を習得又は向上させ、これらの者の就業機会等の確保を図ることを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	日雇労働者等の就業機会の確保を図るため、技能を有しない日雇労働者等を対象に、技能労働者として必要な技能の習得や資格・免許の取得等を目的とした技能講習等を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算の状況	当初予算	401	345	334	321	308		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		401	345	334	321	308		
	執行額		392	306	288	-			
	執行率(%)		98%	89%	86%	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		98%	89%	86%	-				
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	高齢者等雇用安定促進事業委託費	321	308	対象人員の見直しによる減					
	職員旅費	0	0						
	その他	0	0						
計	321	308							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	ホームレスの講習受講後の就職率を65%以上とする。	ホームレスの講習受講後の就職率	成果実績	%	64	74.3	75.5	-	-
			目標値	%	52	59	65	-	65
			達成度	%	123	126	116	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	厚生労働省職業安定局調べ								
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	講習受講者から、就職に必要な能力の向上に役立ったとの評価を受ける割合を90%以上とする。	講習受講者から、就職に必要な能力の向上に役立ったとの評価を受ける割合	成果実績	%	96.1	95.5	97.3	-	-
			目標値	%	90	90	90	-	90
			達成度	%	106.8	106.1	108.1	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	厚生労働省職業安定局調べ								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
日雇労働者等技能講習受講者数	活動実績		人	2,804	2,187	2,083			
	当初見込み		人	2,542	2,421	2,360	2,000		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト=X/Y						円	139,977	141,752
	X:「事業全体の執行額(円)」 Y:「技能講習の受講者数(人)」		計算式	X/Y	392,495,506/2,804	310,010,818/2,187	287,613,130/2,083	290,340,965/2,000	
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	労働者等の特性に応じた雇用の安定・促進を図ること(IV-3)							
		高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること(IV-3-1)							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度
									年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-
	目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	日雇労働者等の就業機会の確保を図るため、技能を有しない日雇労働者等を対象に、技能労働者として必要な技能の習得や資格・免許の取得等を目的とした技能講習等を実施する。 本事業を実施することにより、高齢者等の就業率等の向上に寄与する。								
	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度
		年度	年度		年度			年度	
成果実績		-	-	-	-	-	-	-	
目標値	-	-	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度	
				年度			年度	年度	年度
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
目標値	-	-	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	日雇労働者、ホームレス及び住居喪失不安定就労者については、一般労働者以上に厳しい雇用環境にある。そのため、引き続き、これらの者への就労支援施策を推進することは社会のニーズに対応したものであると考えている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	日雇労働者等については、「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」に基づき策定された「ホームレスの自立の支援等に関する基本方針」により、日雇労働者等に対しては、技能講習により技術革新に対応した新たな技能や複合的な技能を付与することとされており、優先度の高い事業であると考えている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」に基づき策定された「ホームレスの自立の支援等に関する基本方針」により、日雇労働者等に対しては、技能講習により技術革新に対応した新たな技能や複合的な技能を付与することとされており、優先度の高い事業であると考えている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	総合評価落札方式により支出先の選定を行っており、競争性が確保されている。平成28年度は、官民入札等監理委員会とも調整しつつ、入札参加資格の見直し等により、競争性を高めることができるよう改善を行った。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	執行実績を踏まえ、事業目的に即し真に必要なものに限定されているかを精査しており、概ね妥当と考えている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	委託費は、用途が事業目的に沿った支出となっており、真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	ホームレス数は、平成28年1月から平成29年1月までの間で大幅に減少(△11.2%)しており、当該減少が影響したものと考えている。	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	総合評価落札方式により委託先の選定を行っており、価格競争の要素を入れている。また、受託者の負担軽減に向けた改善を行うなど、効率化に向けた工夫を行っている。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	実績は目標を上回っており、目標に見合った成果を上げている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	労働市場におけるニーズを踏まえ、免許・資格の取得等を目的とした比較的短期間の講習を実施し、就労の可能性を高めるものであり、成果実績においても目標を上回っていることから、実効性の高い手段であると考えている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は当初見込みを概ね達成しており、見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	当事業で実施する技能講習の受講者に対して、ホームレス等に対する就労支援事業における職業相談・職業紹介等の実施により、ホームレスや日雇労働者に対する就業機会の確保等を図る。
	所管府省名	事業番号	事業名	
	厚生労働省	0533	ホームレス等に対する就労支援事業	
点検・改善結果	点検結果	成果実績については目標値を上回っており、効果的に実施されているものの、活動実績・執行率は当初の見込みを下回っている。		
	改善の方向性	活動実績や予算の執行率等を踏まえ、予算の見直し等を検討する。		
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
一部改善	事業内容	活動実績が低調に推移している要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。また、一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。		

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

縮減

活動実績等を踏まえ、適正な規模となるよう事業規模の見直しを行った。
また、複数者の応募の促進に向けて、一者応募となっている要因の分析等に取り組む。

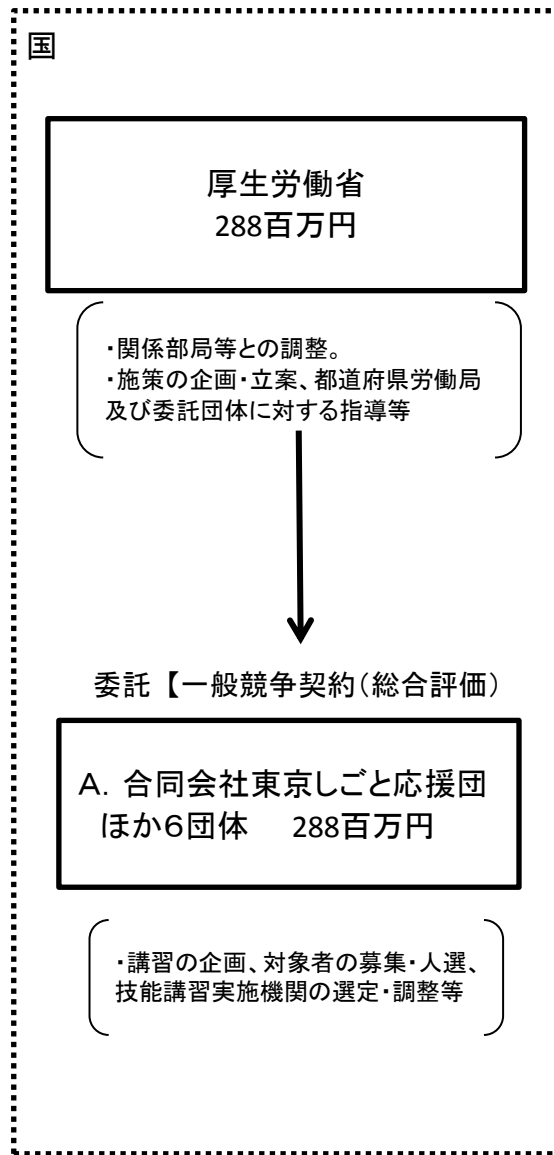
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	924	平成23年度	796	平成24年度	546	
平成25年度	546	平成26年度	543	平成27年度	551	
平成28年度	545					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 合同会社東京しごと応援団			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	技能講習に必要な経費	57				
人件費	人件費	30				
管理費	事業に必要な管理経費等	6				
消費税	消費税	8				
計		101		計		0

